

関西エアポートBCP

【サマリー版】

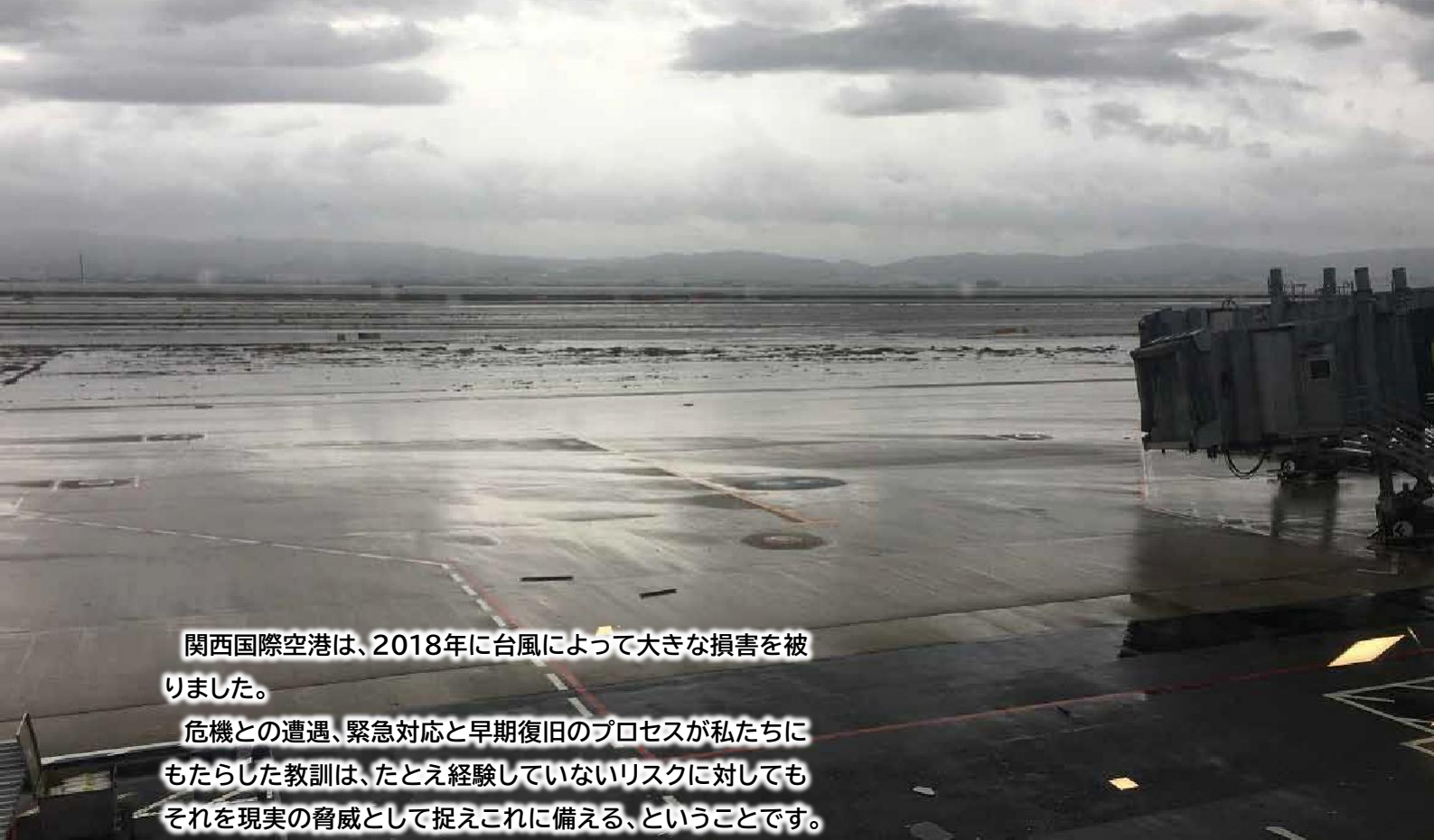
KIX / ITAMI / KOBE



Shaping a New Journey



**KANSAI
AIRPORTS**



関西国際空港は、2018年に台風によって大きな損害を被りました。

危機との遭遇、緊急対応と早期復旧のプロセスが私たちにもたらした教訓は、たとえ経験していないリスクに対してもそれを現実の脅威として捉えこれに備える、ということです。

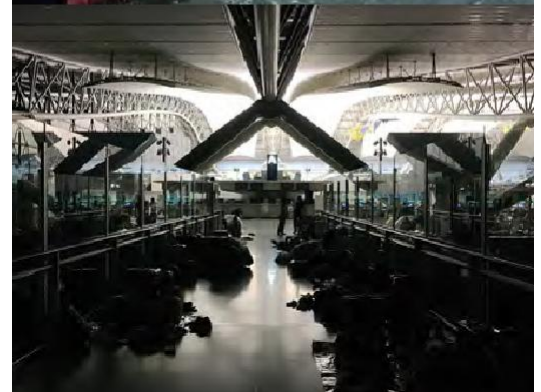
危機には事故・過失両方の自然リスクと人為リスクがあります。空港として、私たちはこうしたリスクに万全の備えをしなければなりません。

また、空港は、多様な空港関係機関によって形成されるコミュニティによって支えられております。南海トラフ地震等の広域的災害を始めとした危機が発生した場合、空港利用者や従業員の安全確保や緊急対応・早期復旧への対応については、空港関係機関のご協力を仰ぎ一体となった取り組み体制が求められます。

このような観点を踏まえ、緊急時・危機管理計画を策定しました。これらの計画と準備は、緊急事態においてすぐ役に立つよう、具体的な手順と実用的な情報が盛り込まれています。

INDEX

- 1 関西エアポート BCP のコンセプト
- 2 関西エアポート BCP の方針と目標
- 3 BCP を構成する計画
- 4 フェーズごとの主な取り組み
 - ～予防～
 - ～減災・緊急対応～
 - ～早期復旧～
- 5 緊急時の対応
 - ～プラン運用フロー～
 - ～ファンクショナルプラン～
- 6 不測事態の対応～機能喪失別対応計画～



関西エアポートBCPのコンセプト

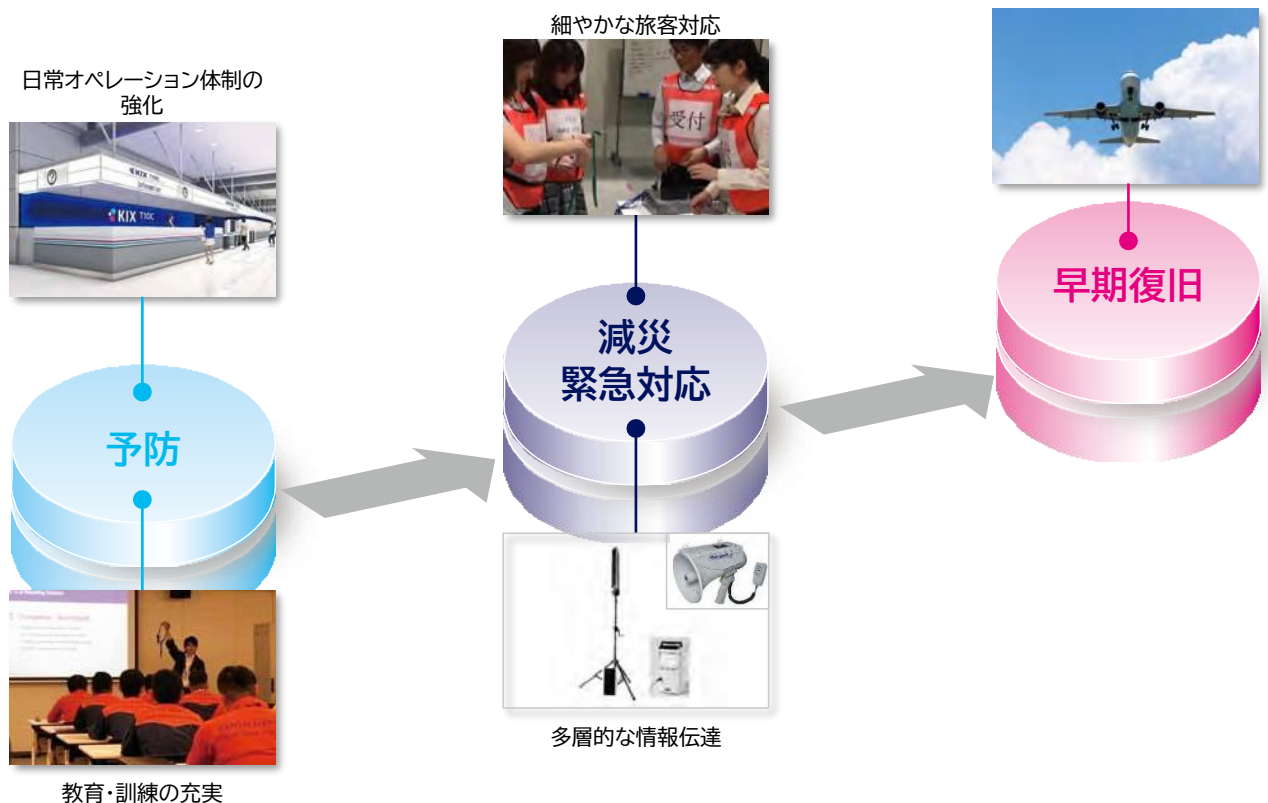
コンセプト1 「関係機関との連携」

- ・災害の発生に備えた社内体制や外部との協力体制について平時より関係機関と情報を共有する。
- ・すべての緊急事態において、総合対策本部を設置するよう関係機関と調整する。
- ・それぞれの権限を持った関係機関が集まり、事態解決のため連携する。



コンセプト 2 「全てのフェーズで的確に対応できる計画」

- ・本BCPは予防・減災・緊急対応、早期復旧の各フェーズに対応できる計画となっている。



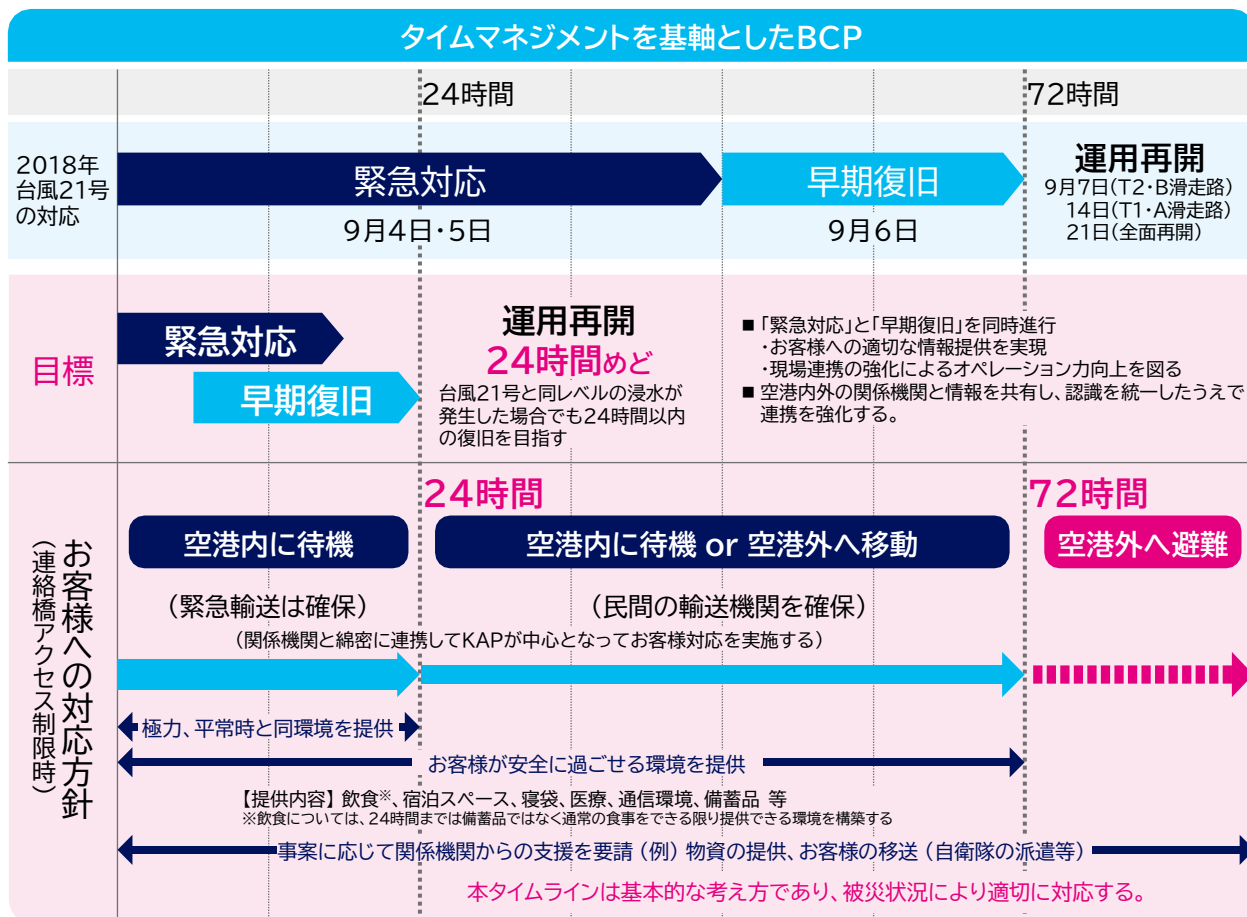
関西エアポートBCPの方針と目標

● 方針

- ・発生または発生が予想される危機に応じて柔軟な対応が可能な堅固な危機管理組織であること。
- ・あらゆる危機に迅速かつ一貫して対応できる危機管理組織であること。
- ・何よりも第一に人々を守り、人々のために尽くすこと。
- ・関西エアポートを危機に関して最も優れた信頼できる情報源として確立すること。
- ・危機の発生中、誠実性と透明性をもって定期的に情報を伝達すること。
- ・危機管理組織のすべてのレベルに、訓練された有能なスタッフを置くこと。
- ・計画を定期的に監査し、見直しを実施すること。

● 自然災害(地震・津波、台風等による浸水被害)が発生した場合の具体的復旧目標

- ・災害発生から **24 時間内**は、旅客等に対し**平常時と同等の環境を提供**し、安心して過ごしていただける環境を守る。
- ・災害発生から **72 時間内**は、旅客等が**安全に空港内で過ごせる環境を提供**すると共に、この間、民間の輸送機関を確保することで**空港外への移動を可能**とする。72 時間内の退避が困難と判断した場合には、直ちに自衛隊等の応援を要請する。
- ・災害による被害の収束後、安全が確認されてから**24時間以内を目途に民間航空機の運航再開**を目指す。



BCPを構成する計画

● 関西エアポートBCPの全体像

- ・ 本 BCP は全ての災害(オールハザード)に対応している。
- ・ 危機管理計画はベーシックプラン、ファンクショナルプランと機能喪失別対応計画からなり、リスクごとの対応マニュアルと関係機関との協定・覚書と組み合わせる事態に対応する。



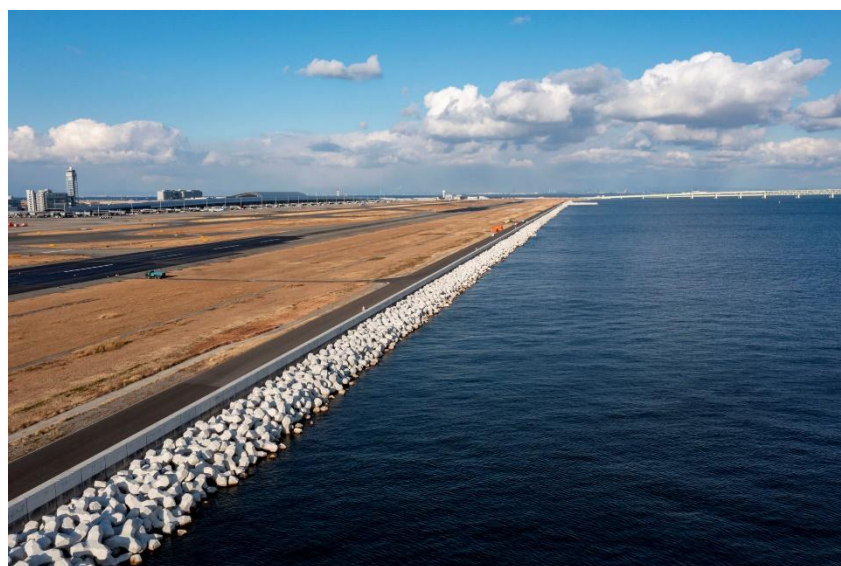
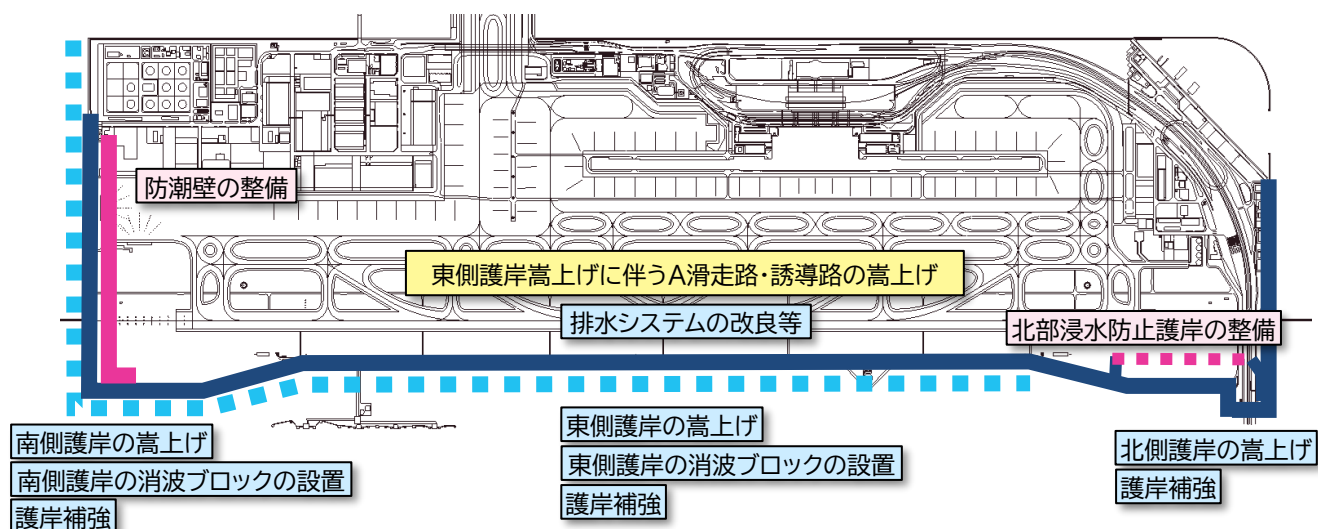
4

フェーズごとの主な取り組み ～予防～

● ハード面の取り組み

越波防止対策

■ 護岸の嵩上げ、消波ブロックの設置等





フェーズごとの主な取り組み ～予防～

● ソフト面の取り組み

関係機関との連携・オペレーション機能の強化（日常から緊急時まで） Joint Crisis Management Group(総合対策本部)

■ 関係機関が参加し、2019 年 4 月正式スタート

- ・空港及びその周辺において緊急事態が発生した際にJCMG を設置。
- ・緊急事態に関する情報の収集、その全体像の把握、情報の共有を図る。
- ・旅客等の安全確保、空港の復旧等に向けて関係者間で連携を図る。

事案 種別	参集機関	Joint Crisis Management Group (総合対策本部) 統括		設置基準
		本部長	副本部長	
災害 台風・地震・津波 等	KIX 32 機関	関西エアポート 株式会社社長	新関西国際空港 株式会社社長 大阪航空局 関西空港事務所 空港長 空港危機管理官	・台風の勢力が「非常に強い」以上で、関西空港に大きな影響を及ぼす 可能性がある進路が予想される場合、事前に実施機関と協議を行い、 最接近予想 24 時間前までに参集の有無を決定する ・関西空港において震度 6 弱以上の地震が発生した場合 ・大阪府に大津波警報又は津波警報が発表された場合 ・関西空港及びその周辺における航空機事故等によって、旅客等の対応 に重大な影響がある場合
	KIX JCMG 【官公庁(空港内)】 (9) 大阪航空局関西空港事務所、気象庁関西航空地方気象台、内閣官房空港危機管理官、関西空港警察署、 海上保安庁関西空港海上保安航空基地、泉州南広域消防本部、財務省大阪税関関西空港税関支署、 出入国在留管理庁大阪出入国在留管理局関西空港支局、厚生労働省関西空港検疫所 【民間会社(空港内)】 (8) 関西エアポート株式会社、新関西国際空港株式会社、関西国際空港航空会社運営協議会 AOC、日本航空株式会社、 全日本空輸株式会社、Peach Aviation 株式会社、フェデックス・エクスプレス、関西国際空港貨物事業者連絡協議会 【官公庁(空港外)】 (8) 国土交通省近畿運輸局、国土交通省近畿地方整備局、大阪府、泉佐野市、泉南市、田尻町、りんくう総合医療センター、外務省大阪分室 【アクセス機関】 (7) 西日本旅客鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本高速道路株式会社、南海バス株式会社、 関西国際空港リムジンバス等運営協議会、関西国際空港タクシー運営協議会、株式会社こうべ未来都市機構			
	ITAMI 9 機関	関西エアポート 株式会社社長	新関西国際空港 株式会社社長 大阪航空局 関西空港事務所 空港長	・台風の勢力が「非常に強い」以上で、進路が大阪国際空港を直撃する 時、事前協議を行い、24 時間前までに参集の有無を決定する。実際の 参集は 12 時間前とする。 ・大阪国際空港において震度 6 弱以上の地震が発生した場合 ・空港運用に対し重要な脅威がある時
	ITAMI JCMG 【官公庁(空港内)】 (3) 大阪航空局大阪空港事務所、豊中警察署、伊丹警察署 【民間会社(空港内)】 (4) 関西エアポート株式会社、新関西国際空港株式会社、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社航空会社 【アクセス機関】 (2) 阪急観光バス株式会社、大阪モノレール株式会社			
	KOBE 32 機関	関西エアポート神戸 株式会社社長	神戸市長	・台風の勢力が「非常に強い」以上で、神戸空港に大きな影響を及ぼす可 能性がある進路が予想される場合、事前に実施機関と協議を行い、最 接近予想 24 時間前までに参集の有無を決定する ・神戸空港において震度 6 弱以上の地震が発生した場合 ・兵庫県瀬戸内海沿岸に大津波警報又は津波警報が発表された場合 等
	KOBE JCMG 【官公庁(空港内)】 (4) 神戸市港湾局空港調整課、神戸市危機管理室(神戸市航空機事故警戒本部・対策本部、災害対策本部)、 大阪航空局神戸空港出張所、気象庁関西航空地方気象台神戸航空気象観測所 【民間会社(空港内)】 (9) 関西エアポート神戸株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社AIRDO、株式会社ソラシドエア、スカイマーク株式会社、 株式会社フジドリームエアラインズ、神戸空港給油施設株式会社、学校法人ヒラタ学園、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社 【官公庁(空港外)】 (15) 神戸市消防局(航空機動隊含む)、神戸市水上消防署、神戸市水上消防団、神戸市第二次救急病院協議会、 日本赤十字社兵庫県支部、神戸市立医療センター中央市民病院、神戸大学医学部附属病院、兵庫県災害医療センター、 兵庫県警察本部、神戸水上警察署、空港警備派出所、海上保安庁神戸海上保安部、兵庫県危機管理本部災害対策課、 陸上自衛隊中部方面特科連隊、海上自衛隊阪神基地隊 【民間会社(空港外)】 (2) 西日本電信電話株式会社兵庫支店、ニチイ神戸ポートアイランドセンター 【アクセス機関】 (2) 神戸新交通株式会社、株式会社こうべ未来都市機構			



フェーズごとの主な取り組み ～予防～

KAP Group(KIX・ITAMI・KOBE 共通)の危機管理体制

■ 3 空港の補完体制を整備

【本社機能の補完】

- ・社員の応援体制の整備

【オペレーション機能の補完】

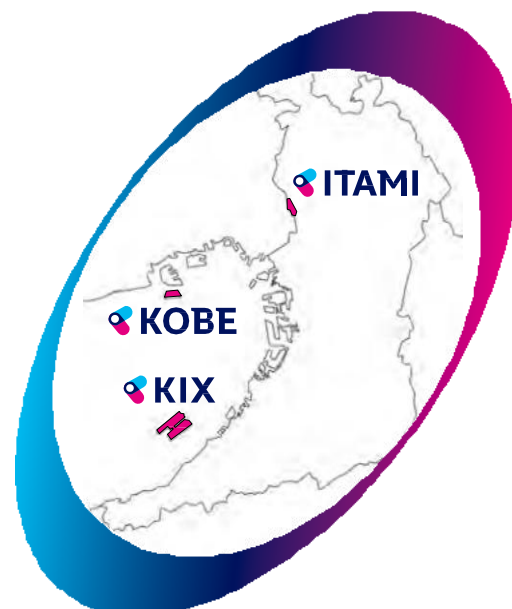
- ・運用情報の連携
- ・復旧のための資機材の提供

KAP の危機管理組織は、以下で構成される。

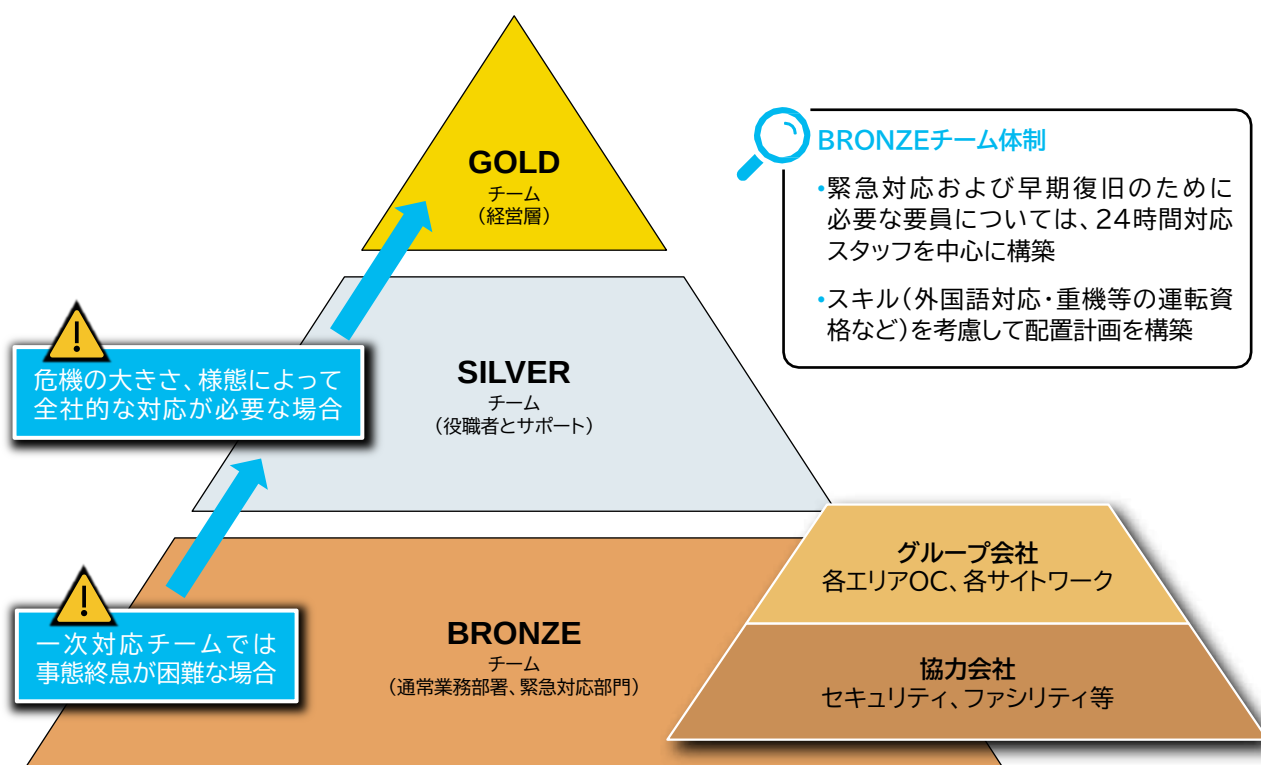
GOLD チーム :会社として緊急事態に対する
戦略的コントロール(経営的観点)を行う。

SILVER チーム :緊急事態に対する戦術的コントロールを行い、
緊急対応に関して高度な判断を行う。
(BRONZE チームのサポート)

BRONZE チーム:空港オペレーションセンターを中心として、
緊急対応を行う。



インシデント状況によって
指揮命令系統が上位にエスカレーションされる

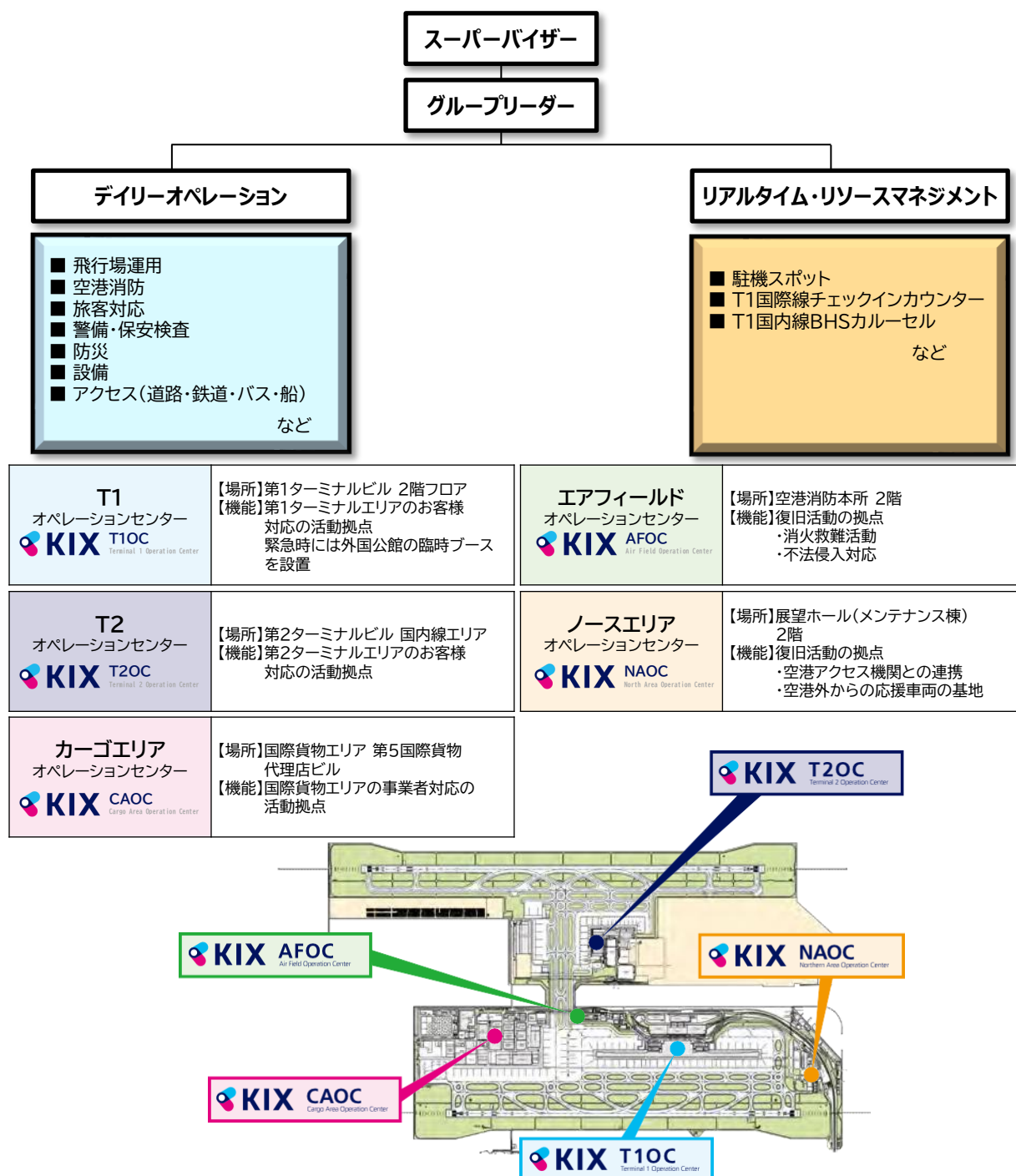




フェーズごとの主な取り組み ～予防～

KIX Operation Center(KOC)の体制

- KAP3空港の各運用センターを現場統括するスーパーバイザーのもと、KOCグループリーダーが「デイリーオペレーション」と「リアルタイム・リソースマネジメント」で構成されるKOCを統制。
- 飛行場運用、警備・保安、防災、アクセス、各種設備などのデイリーオペレーションの管理・監視を堅持するとともに、駐機スポット、コモン設備(国際線チェックインカウンターなど)といった空港運用リソース管理のリアルタイム最適化を図る。
- また伊丹空港にはITM Operation Center (IOC)、神戸空港にはUKB Operation Center (UOC)を整備。





フェーズごとの主な取り組み ～予防～

災害用備蓄品の充実

- 各空港滞留者想定数×3日分の飲料水及び食料等を備蓄。

	KIX	ITM	KOBE
滞留想定数	13,000 人	4,400 人	1,160 人
飲料水	2リットル / 人 / 日		
食料	3食 / 人 / 日		

※ 上記は2025年度における参考値

■ 備蓄している物資

品目	備考	品目	備考
食料 	アルファ化米 缶詰めパン ビスケット ※ハラル・アレルギー対応含む	育児用 調製粉乳 	幅広い世代・性別・ 要支援者への配慮
飲料水 	500ml ペットボトル	紙おむつ 大人用 乳児小児用 	
寝袋 	宿泊用備品の配備	女性用 サニタリー 	
毛布 			
簡易トイレ 	トイレは24時間を目途に 復旧させる		

特別災害隊の編成

■ 既存の空港消防組織を再編し、**24 時間・災害に即応できる体制**を編成

- ・災害対応用資機材の管理・運用。
- ・災害対策に関する必要な教育・訓練の実施。
- ・近隣地域が被災した場合にも対応。



災害対応



資機材の管理・運用



教育・訓練の実施

浸水被害防止対策

■ ターミナル地区

- ・ 第1ターミナルビル地下部分の浸水被害対策。
- ・ 大型止水板、水密扉、大型ポンプ車の配備。



大型ポンプ車



水密扉



大型止水板



■ 貨物地区 & 排水ポンプ

- ・ 貨物上屋への浸水被害対策のため、防水シートの配備。
- ・ 排水ポンプ機能を維持するため、シェルター化。



止水シート



シェルター

フェーズごとの主な取り組み ～減災・緊急対応～

お客様ケア・島外避難

- ・ ケアが必要な方の**旅客プライオリティ**、また**二次避難場所プライオリティ**(候補地)を事前に定めておくことで、緊急事態が発生した場合にスムーズな旅客誘導及びサービスを提供することが可能。

KIXにおける避難誘導フロー(大地震の場合)





フェーズごとの主な取り組み ～減災・緊急対応～

旅客プライオリティと対応言語が一目でわかる 滞留者カード

滞留者カード No. J-90001	
①氏名	(姓) (名) ②年齢
③国籍	④性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
⑤住所	都道府県 区都市町村
⑥連絡先	
⑦手荷物番号	(航空会社名) (手荷物番号)
⑧旅客 プライオリティ	☐ 障がい者、難病患者、妊産婦及びその家族 【具体的な症状をご記入ください。】 ☐ 乳幼児連れの家族、高齢者とその家族 ☐ 18歳未満（1名の場合） ☐ 上記以外の旅客
⑨食事	☐ アレルギー対応食を希望 ☐ ハラル食を希望 ☐ 粉ミルクを希望 ※こちらは記入しないでください（テナント記入欄） ☐ 1食目 ☐ 2食目 ☐ 3食目
⑩ボランティア	【協力できる項目にのみをお願いします。】 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 介護士 ☐ 保育士 ☐ 通訳（語） ☐ その他
⑪その他	【相談事や希望がある場合はご記入ください。】
【個人情報の取扱いに関する同意書】 ☐ 私は、空港運営会社及びその委託先のほか、ホテル、領事館、医療機関等の関係機関が緊急時における空港滞留者の安全確保等を目的として、上記に記入した情報を利用することに同意します。	

■ 用紙上端部の色で対応言語を識別

- 青: 日本語
- 緑: 英語
- 赤: 中国語
- 橙: 韓国語

■ 旅客のプライオリティを4段階に区分、 プライオリティはネックストラップの色で識別

- 赤: 負傷者、障がい者、妊産婦、難病患者等
体調がすぐれない方とその家族
- 橙: 乳幼児連れの家族、高齢者とその家族
- 緑: 未成年者（1名の場合）
- 青: 上記以外の旅客

■ その他旅客のケアに必要な最低限の情報を記載

滞留者カード No. J-90001	
①氏名	(姓) (名) ②年齢
③国籍	④性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
⑤住所	都道府県 区都市町村
⑥連絡先	
⑦手荷物番号	(航空会社名) (手荷物番号)
⑧旅客 プライオリティ	☐ 障がい者、難病患者、妊産婦及びその家族 【具体的な症状をご記入ください。】 ☐ 乳幼児連れの家族、高齢者とその家族 ☐ 18歳未満（1名の場合） ☐ 上記以外の旅客
⑨食事	☐ アレルギー対応食を希望 ☐ ハラル食を希望 ☐ 粉ミルクを希望 ※こちらは記入しないでください（テナント記入欄） ☐ 1食目 ☐ 2食目 ☐ 3食目
⑩ボランティア	【協力できる項目にのみをお願いします。】 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 介護士 ☐ 保育士 ☐ 通訳（語） ☐ その他
⑪その他	【相談事や希望がある場合はご記入ください。】
【個人情報の取扱いに関する同意書】 ☐ 私は、空港運営会社及びその委託先のほか、ホテル、領事館、医療機関等の関係機関が緊急時における空港滞留者の安全確保等を目的として、上記に記入した情報を利用することに同意します。	

Emergency Information Card No. E-90001	
1 Name	2 Age
3 Nationality	4 Gender ☐ Male ☐ Female ☐ Other
5 Address	6 Phone
7 Baggage	8 Passenger priority
9 Dietary requirement	10 Volunteer
11 Others	
【Privacy Policy】 This card is for use by airport operators and their contractors, hotels, consulates and medical institutions.	

滞留者記録カード No. C-90001	
①氏名	(姓) (名) ②年齢
③国籍	④性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
⑤住所	⑥連絡先
⑦手荷物番号	(航空会社名) (手荷物番号)
⑧旅客 プライオリティ	☐ 障がい者、難病患者、妊産婦及びその家族 【具体的な症状をご記入ください。】 ☐ 乳幼児連れの家族、高齢者とその家族 ☐ 18歳未満（1名の場合） ☐ 上記以外の旅客
⑨食事	☐ アレルギー対応食を希望 ☐ ハラル食を希望 ☐ 粉ミルクを希望 ※こちらは記入しないでください（テナント記入欄） ☐ 1食目 ☐ 2食目 ☐ 3食目
⑩ボランティア	【協力できる項目にのみをお願いします。】 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 介護士 ☐ 保育士 ☐ 通訳（語） ☐ その他
⑪その他	【相談事や希望がある場合はご記入ください。】
【個人情報の取扱いに関する同意書】 私は、空港運営会社及びその委託先のほか、ホテル、領事館、医療機関等の関係機関が緊急時における空港滞留者の安全確保等を目的として、上記に記入した情報を利用することに同意します。	

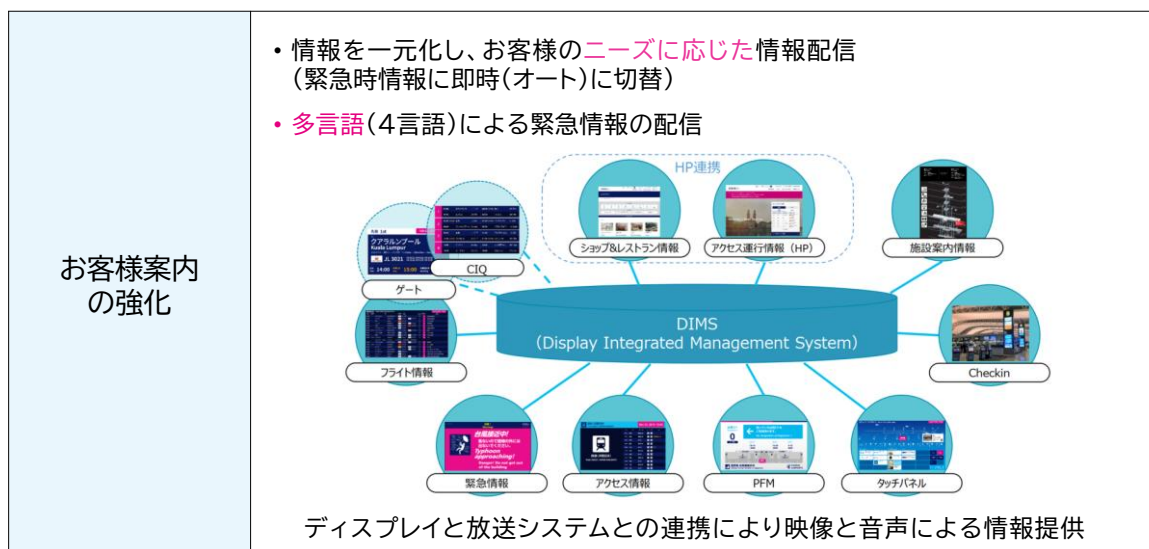
滞留者記録カード No. K-90001	
①氏名	(姓) (名) ②年齢
③国籍	④性別 ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他
⑤住所	⑥連絡先
⑦手荷物番号	(航空会社名) (手荷物番号)
⑧旅客 プライオリティ	☐ 障がい者、難病患者、妊産婦及びその家族 【具体的な症状をご記入ください。】 ☐ 乳幼児連れの家族、高齢者とその家族 ☐ 18歳未満（1名の場合） ☐ 上記以外の旅客
⑨食事	☐ アレルギー対応食を希望 ☐ ハラル食を希望 ☐ 粉ミルクを希望 ※こちらは記入しないでください（テナント記入欄） ☐ 1食目 ☐ 2食目 ☐ 3食目
⑩ボランティア	【協力できる項目にのみをお願いします。】 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 介護士 ☐ 保育士 ☐ 通訳（語） ☐ その他
⑪その他	【相談事や希望がある場合はご記入ください。】
【個人情報の取扱いに関する同意書】 私は、空港運営会社及びその委託先のほか、ホテル、領事館、医療機関等の関係機関が緊急時における空港滞留者の安全確保等を目的として、上記に記入した情報を利用することに同意します。	



フェーズごとの主な取り組み ～減災・緊急対応～

デジタル化の推進

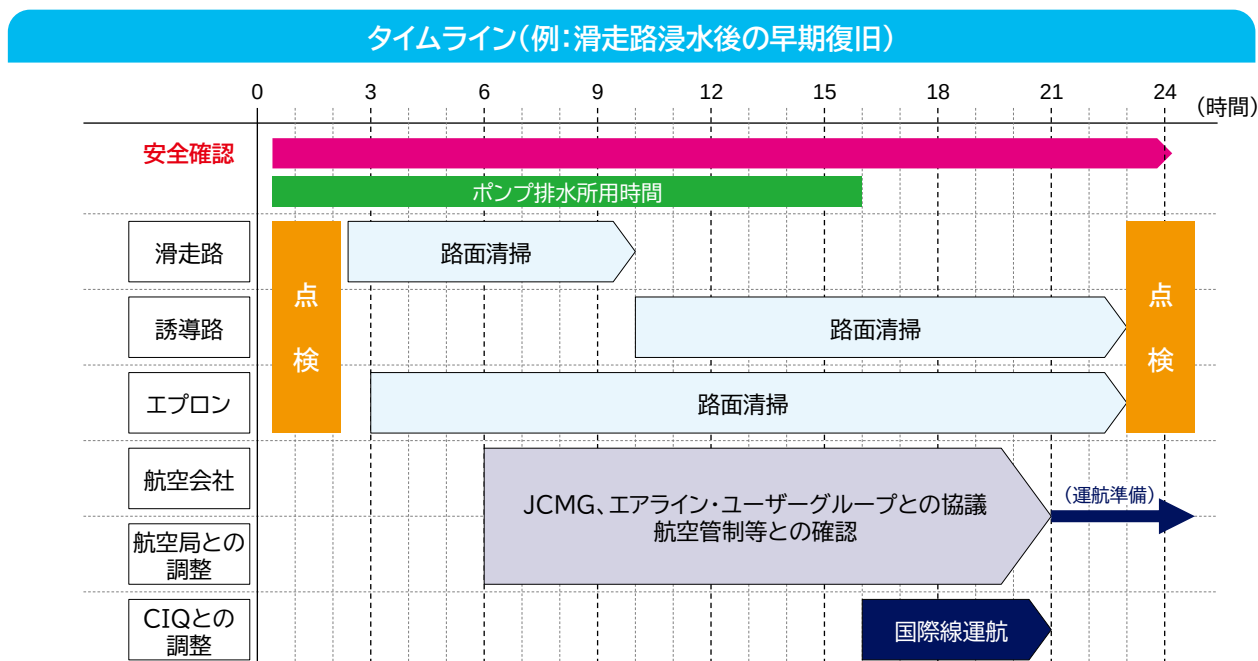
- 緊急事態発生時のスムーズな旅客誘導やサービスの提供のため、ソリューションを導入し、お客様に迅速かつ的確な情報を提供。
- Display Integrated Management System** 整備による緊急時の**情報提供強化**。
【KIX:参考】



4

フェーズごとの主な取り組み ～早期復旧～

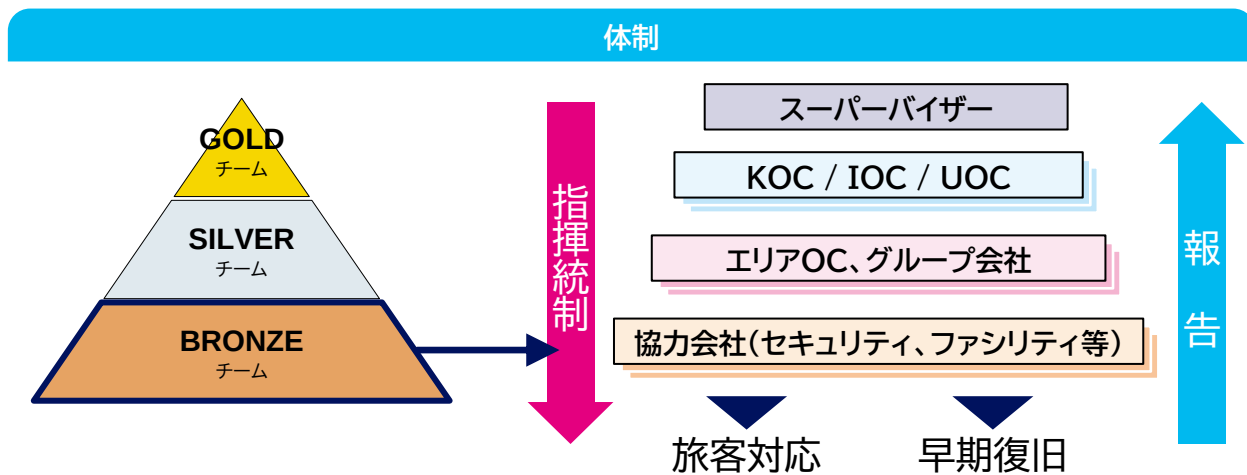
- ・BRONZEチームはスーパーバイザー、オペレーションセンター、エリアオペレーションセンター、グループ会社、協力会社などで構成されており、様々な資機材を使用しながら、旅客対応や早期復旧を行う。



(参考)2018年台風21号人員・機材実績:稼働時間8時間

(作業員80人・スイーパー16台・ダンプ22台・タイヤショベル2台・バックホー7台)

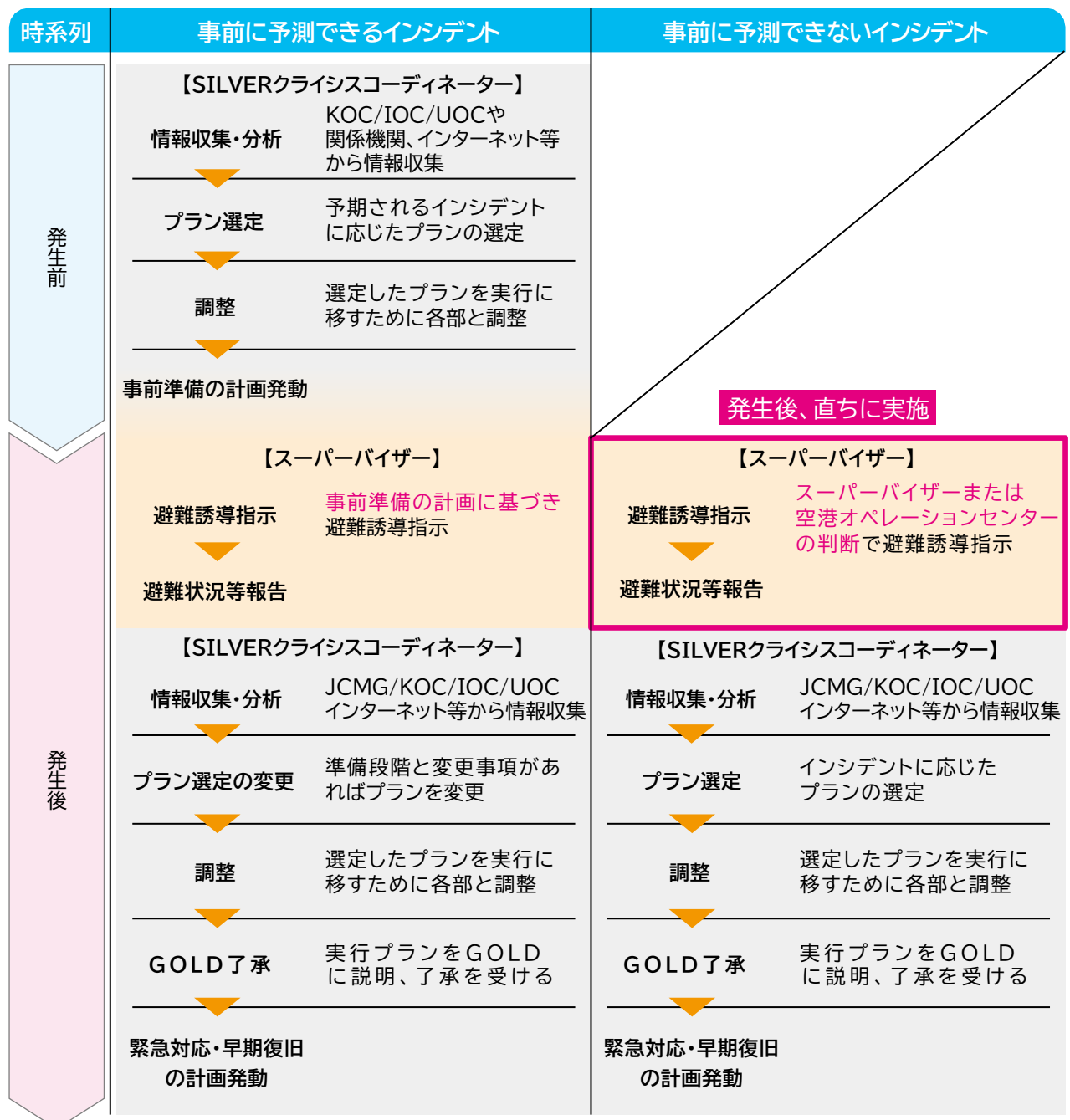
CIQ… Customs (税関)、Immigration (出入国管理)、Quarantine (検疫所)の略



5

緊急時の対応 ～プラン運用フロー～

- 緊急時の際は、基本的に以下のフローで各種プランを選定・調整し、状況に即した実際のプランとして発動する。

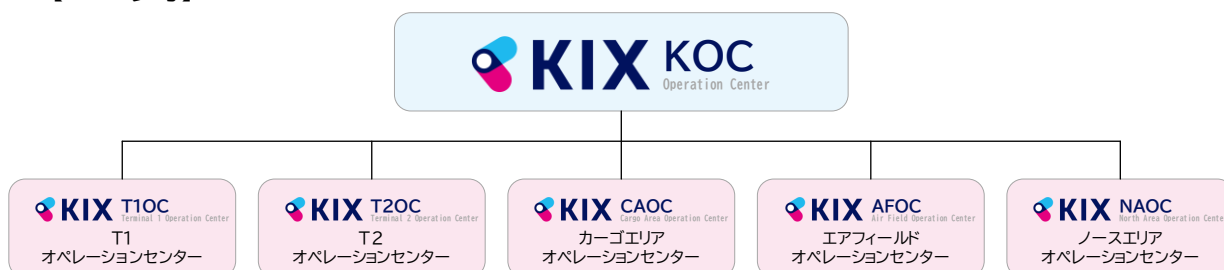


① 空港オペレーションセンター

■ 空港オペレーションセンターの責任・役割について規程

- 空港エリアオペレーションセンターはインシデントのマイナー・シビアの判断を行い、KOC及びSILVERチームにシビアインシデント発生時の通報をする。また、非番のオペレーションスタッフを招集し人員配置を計画する。
- 空港オペレーションセンターから得た情報を空港エリアオペレーションセンターが管轄するエリアのお客様や従業員及び関連会社に提供する。

【KIX:参考】



② シビア・インシデント対応

■ 緊急事態時に必要なお客様の緊急避難・サポート・情報提供について規定

- BRONZEチームは既存の部署、緊急対応部門または特別対応チームで構成され、オペレーションレベルで配置される。
- SILVERチームは、戦術的コントロールを目的として組織され、インシデントに直接対応する。初期消火活動などの専門的な初動対応を除き、BRONZEチームに指示を出す。
- GOLDチームはシビアインシデントの戦略的コントロールを目的とする、SILVERチームに指示を出すチーム。
- JCMGはインシデントが発生した際、空港運営にかかわる関係機関が一体となって、情報共有・連携することを目的として設置される。

シビア・インシデント	
(1)	航空機事故
(2)	乱気流等によるインシデント
(3)	航空機の爆破等
(4)	航空機の強取
(5)	ターミナルビル等の火災
(6)	危険物の漏洩等
(7)	自然災害
(8)	伝染病、集団食中毒等医療上の緊急事態
(9)	テロ、武力攻撃事態等
(10)	重要施設の機能停止
(11)	その他、空港の管理・運営に重大な影響を及ぼすおそれがあると認められるもの

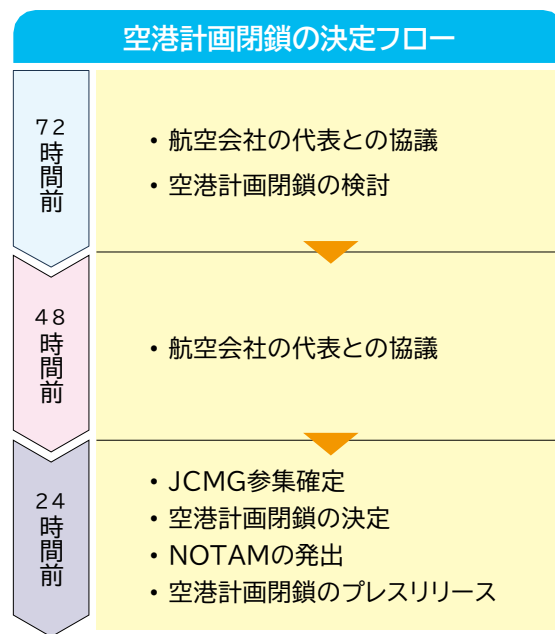


緊急時の対応 ～ファンクショナルプラン～

③ イレギュラー運航管理

■ イレギュラー時の運航管理について規定(空港計画閉鎖、被災による運航制限 等)

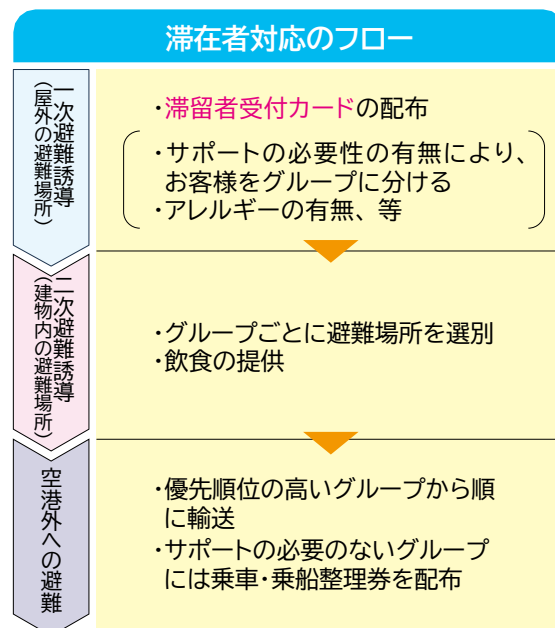
- ・主に空港計画閉鎖による旅客便のオペレーション変更の際に本プランは発動される。
- ・空港閉鎖によるオペレーションは、空港閉鎖決定までのプロセス、空港閉鎖中のオペレーション、空港再開のプロセスを定めている。また、発着容量制限時の発着制限計画も本プランに含まれる。



④ お客様の避難・サポート・情報提供

■ 緊急事態時に必要なお客様の緊急避難・サポート・情報提供について規定

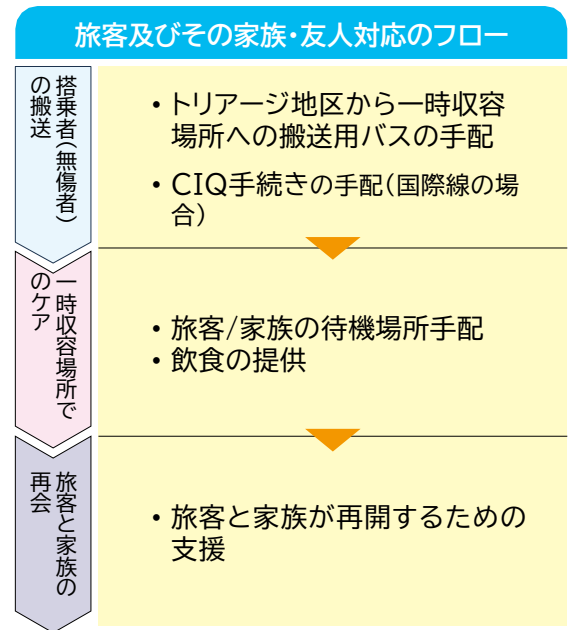
- ・自然災害や航空機事故、火災、その他お客様とスタッフの健康安全を直接脅かす緊急状況において本プランは発動される。
- ・空港内滞留者に対する対応手順は右図の通り。詳細については本資料の「4 フェーズごとの主な取り組み～減災・緊急対応～」を参照。



⑤ お客様サポート(航空機事故)

■ 航空機事故時の航空会社と連携したお客様サポートについて規定（被災者及びその家族・友人のケア）

- 航空機事故における乗客とその家族への支援責任は航空会社にある。ただし、航空会社が適切なリソースを空港に持っていない場合、十分な対応ができるようになるまで支援する。
- KAP社員の他にグループ会社や合意関係にある協力会社の従業員を動員して支援を行う。
- 航空会社とKAPによるお客様対応内容は右図参照。



⑥ リソース管理

■ 緊急事態時に必要なリソースの管理プロセスについて規定（人的リソース・物的リソース）

- シビア・インシデント発生時に必要となる災害用備蓄品や復旧のための資機材等のリソースを管理するためのプロセス（対応チームの投入、資機材等の入手、割り当て方法）を示している。
- 感染症の流行など厳しい状況下においても空港機能を維持できるよう、人的リソースのバックアップ体制を整備している。

● 災害用備蓄品

品目	
食料	簡易トイレ
飲料水	育児用調製粉乳
寝袋	紙おむつ
毛布	女性用サニタリー

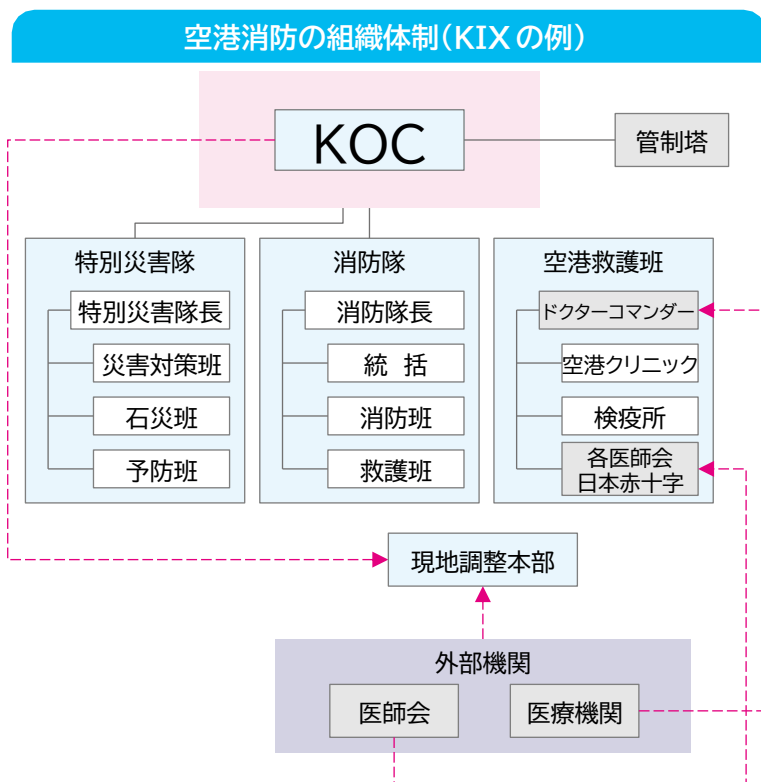
● 資機材

品目	
路面清掃車	バックホー 0.2m ²
投光車	散水車
ダンプ車 4t	エンジン式ブロア
タイヤショベル 0.6 ～ 1m	

⑦ 消火・救難

■ 緊急事態時における各空港の消火・救難組織の体制について規定

- 空港消防は各空港消防と外部協力先によって提供される。
- 医療サービスは空港クリニック（KIX）、メディカルセンター（ITAMI）、外部医療機関（KOBE）によって提供される。外部の消防や救急隊と相互応援協定を結んでいる。
- 航空機事故の場合は全体の指揮は航空機事故総合対策本部が担い、オペレーションの指揮は現地調整本部が担う。





不測事態対応 ～機能喪失別対応計画～

凡例 共通 KIX ITAMI KOBE

機能喪失別 対応計画	想 定	対応方法の概要(一部抜粋)
電源	空港内の個々の重要施設あるいはそのすべてに 電力を供給している商用電源および非常用発電 機が被災(関西電力エネルギーセンターからの電力供給も停止)	- 旅客避難対応 - 仮設電源対応 優先順位は以下の通り。 - 復旧作業用資機材の運搬 - 空港の管理・通信 (JCMG/GOLD/SILVER/BRONZE の活動のため) - 空港利用客の安全・安心の確保 - 運航再開に向けた機能確保
	商用電源および非常用発電機が停止	
	商用電源および非常用発電機が停止	
通信機能	電話、インターネット、Free-WiFi、等の機能停止	・ 初動対応について、EMC(エマージェンシーコール)、BCPortal(危機発生時のコミュニケーションツール)、衛星携帯電話、MCA無線、防災行政無線等を使用しての体制を確立。 ・ 携帯電話会社の基地局車による通信継続支援
上水給水	空港島外からの給水停止 (連絡橋での上水管破断、など)	・ 上水貯水槽からの通常レベルの給水(24時間) ・ 備蓄飲料水配布
	古江浄水場からの給水停止	・ 上水受水槽からの通常レベルの給水(48時間) ・ 備蓄飲料水配布
	空港島外からの給水停止 (連絡橋での上水管破断、など)	・ 上水貯水槽からの通常レベルの給水(24時間) ・ 備蓄飲料水配布
中水給水	中水供給ポンプが停止	・ 中水貯水槽からの通常レベルの給水(24時間) ・ 仮設トイレの設置、簡易トイレの提供
	(中水の使用はないため対象外)	
	中水供給ポンプが停止	・ 中水貯水槽からの通常レベルの給水(24時間) ・ 仮設トイレの設置、簡易トイレの提供 ・ 中水施設が停止した場合でも上水施設からの供給
排水	・ 排水処理施設へ送水する中継ポンプ場の停止 ・ 同施設での排水処理停止	・ 中継ポンプ場の送水機能回復、排水処理機能の回復
	(自治体排水処理場によるため対象外)	
	(自治体排水処理場によるため対象外)	
アクセス機能	空港連絡橋・道路・鉄道が使用不可	・ 島外避難 ・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
	・ モノレールが長期にわたり運休 ・ 阪神高速及び周辺道路の遮断による交通障害	・ 徒歩避難 ・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
	空港連絡橋・道路・ボートライナーが使用不可	・ 島外避難 ・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
基本施設① 基本施設②	滑走路 A・B のいずれか一方または両方が使用不可	・ 島外避難 ・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
	B滑走路が閉鎖またはA滑走路・B滑走路が共に使用停止となった場合	・ 徒歩避難 ・ 騒音に関する住民説明(A滑走路の使用便数増加) ・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
	滑走路の使用不可	・ エアライン運航計画見直し通知、スポットアサイン
基本施設③	航空灯火の機能停止	KIXで保有している予備灯の設置
		KIXから予備灯の調達・設置
		KIXから予備灯の調達・設置



不測事態対応 ～機能喪失別対応計画～

凡例 共通 KIX ITAMI KOBE

機能喪失別 対応計画	想 定	対応方法の概要(一部抜粋)
ターミナルビル機能① ターミナルビル機能②	第1・2ターミナルビルのいずれか一方または両方が使用不可	- 旅客のターミナル間誘導、島外避難 - エアライン運航計画見直し・通知、スポットアサイン - ダイバート不可航空機の着陸・給油対応
	旅客ターミナルビルが使用不可	- 徒歩避難 - ダイバート不可航空機の着陸・給油対応
	旅客ターミナルビルが使用不可	- 島外避難 - ダイバート不可航空機の着陸・給油対応
PBB、BHS	全数使用不可	PBB:ランプバス、ステップ車による搭乗・降機の支援(エアライン、ハンドリング会社との調整) BHS:代替搬送対応、手荷物返却
		PBB:ランプバス、ステップ車による搭乗・降機の支援(エアライン、ハンドリング会社との調整) BHS:代替搬送対応、エアライン資産の出発側BHSの応援対応
		PBB:ランプバス、ステップ車による搭乗・降機の支援(エアライン、ハンドリング会社との調整) BHS:代替搬送対応、エアライン資産の出発側BHSの応援対応
航空燃料	空港内貯油タンク施設(ハイドラント)からの燃料供給停止	島内にあるローリーによる供給継続の支援(エアライン、石油元売り会社との調整)
	空港内貯油タンク施設(ハイドラント)からの燃料供給停止及びローリーによる供給も不可(JAL)、ローリー給油施設からの燃料供給停止(ANA)	空港外からのローリーによる供給継続の支援(エアライン、石油元売り会社、給油オペレーション会社との調整)
	空港内貯油タンク施設(ローリーによる)からの燃料供給停止	島外からのローリーによる供給継続の支援(エアライン、石油元売り会社、給油オペレーション会社との調整)
貨物取扱施設	貨物施設(上屋、業務に必要な機能)が停止	- 滞留貨物の移送の支援 - 浸水リスクを想定した場合、荷役車輛の退避
	航空貨物の取扱不可	滞留貨物の移送の支援
	(貨物取扱いが無いため対象外)	
管制機能	管制機能が停止	CABによって、ガンセット /ライトガンを用いて航空機誘導を行う。発着容量に制限が発生する場合、エアライン運航計画に基づいてスポットアサインを行う
重要情報システム	重要情報システム(KAP-LAN、機械警備システム、空港管理支援システム、国際チェックインシステム、エプロン監視用 ITV システム、旅客案内情報システム)の停止	空港従業員によるマニュアル対応(例えば、機械警備システムの場合、出入口の閉鎖、巡回頻度を多くする、等)
	重要情報システム(KAP-LAN、警備システム、スポット管理システム、旅客案内情報システム)の停止	空港内従業員によるマニュアル対応(例えば、旅客案内情報システムの場合、エアラインと協業して旅客案内ボードの設置する、等)
	重要システム(KAP-LAN、場周フェンス警備システム、ターミナルビル監視用システム、旅客案内情報システム)の停止	空港従業員によるマニュアル対応(例えば、場周フェンス警備システムの場合、点検ポイント増加、巡回頻度を多くする、等)
人的リソース	空港運用・施設管理事業に関する人的リソースの喪失	代替要員の事前選出

Shaping a New Journey

